



研究室紹介

文学部 史学科

MIYAMOTO Ryoichi

宮本 亮一 准教授

大阪府生まれ。龍谷大学文学部史学科卒業、同大学院文学研究科東洋史学専攻博士後期課程修了博士号取得。日本学術振興会特別研究員(PD)、東京大学アジア研究図書館特任研究員などを経て、2023 年本学着任。著書に『アジア人物史1:神話世界と古代帝国』(共著、集英社、2023年)ほかがある。

中央アジアとの出会い

幼い頃、『三国志』の漫画で歴史に目覚め、中国史を勉強したくて大学に入った私ですが、3回生の夏休み、友人と向かった憧れの中国への旅が私の人生を変えてしまいました。旅のお供にと、書店で無作為に選んだ『大月氏:中央アジアに謎の民族を尋ねて』という書物には、ユーラシア大陸の中央部、つまり中央アジアを東から西へ移動し、最終的に南アジアまで進出した遊牧民の歴史が描写されていました。未知の世界に強く惹かれた私は、それ以降、中央アジアの世界にのめり込んでいきました。

歴史の勉強と過酷な現実

結果、私は、現在のアフガニスタンを中心とする地域の歴史を研究する専門家になりました。今では使われていない珍しい言語で書かれた史料を読み、当時の人々の暮らしをあれこれと考える作業はとても楽しいものです。しかし、現実目を見ると、アフガニスタンの人々が置かれている状況は極めて過酷です。私の研究が人々の生活に役立つことはなく、悲惨なニュースを見聞きするたびに自身の無力さを痛感し、研究の意義を自問します。それでも、この国にいつか平和が訪れ、世界中から人々が訪れるようになれば、私の研究成果が観光などの役に立つかもしれない、何より、現代社会を理解するためには古い時代の歴史を知る必要があると信じ、日々勉強を続けています。

奈良大学史学科の「凄さ」

奈良大学史学科には、それぞれに得意分野を持つ歴史の専門家が12人もいます！日本からユーラシア大陸を横断しアメリカまで、紀元前後から現代まで、12人の歴史家がカバーする時代と地域は広大で、これほど充実した教員を抱える史学科はほとんどありません。授業では、古代の木簡から、近現代の外交機密文書まで、様々な種類の史料を扱い、学生が直接手に取ることができるものもたくさんあります。また、史跡・博物館へのツアーや、海外研修も用意されています。歴史好きの学生の心を確実に満たしてくれるこの素晴らしい環境に、是非飛び込んで下さい。教員一同、みなさんの熱い気持ちに全力でお応えします！

ゼミ生からのメッセージ

宮本先生は、学生が関心を持っていることに対して全面的に支援してくださいます。オスマン帝国末期を研究対象としている私もご指導いただいています。また、ご自身の研究対象であるソグド語やバクトリア語などの古代言語のほか、アラビア語やペルシア語、特にフランス語もご堪能です。

宮本ゼミは西アジア・南アジアやアラブ圏、イスラーム世界に興味があり、やりたい事がはっきりしている人にオススメしたいゼミです。もちろん先生の専門である古代中央アジアも！

3年生 吉村 大成 さん(出身校:大阪市立南高等学校(現:桜和高等学校))



ならぶ Vol.197 ●発行:令和7年7月 ●発行:奈良大学 〒631-8502 奈良市山陵町1500 TEL. 0742-44-1251(代) URL <https://www.nara-u.ac.jp/> E-mail kounou@nagaki.nara-u.ac.jp ●編集:奈良大学広報室

つなごう、未来へ
nara-u.ac.jp
学校法人奈良大学

学校法人奈良大学創立100周年記念式典

ならぶ
Na Love



Nara
University
Bulletin Vol.197

奈良大学
NARA UNIVERSITY

学校法人奈良大学 創立100周年記念式典、祝賀会を 執り行いました



学校法人奈良大学創立100周年記念式典が創立記念日の4月28日、奈良大学講堂にて執り行われ、大学・高校・幼稚園の教職員や卒業生、父母等の皆様のほか、山下真奈良県知事、仲川げん奈良市長、企業代表者など約500名が出席し、100周年を祝うとともに学園の更なる発展を祈念しました。

記念式典は、奈良大学雅楽研究会による祝賀雅楽で始まりました。演目は「蘭陵王」で、華麗で迫力ある舞が披露されました。

国歌斉唱の後、浅川正美理事長が式辞を述べ、続いて山下真奈良県知事、仲川げん奈良市長、小原芳明日本私立大学協会会長より、奈良大学および私立大学への期待が込められた祝辞をいただきました。来賓紹介においては、創設者の藪内敬治郎先生のご親族も紹介され、会場からは温かい拍手が送られました。

その後、100周年記念ビデオと附属高校生による100周年ロゴ制作ビデオが上映され、100年の歩みと未来への期待を実感した後、奈良大学附属高等学校の三味線部となぎなた部による演奏・演舞が披露されました。三味線部の演奏もなぎなた部の演舞もまさに圧巻のパフォーマンスで、多くの参加者がカメラやスマートフォンで公演の様子を撮影していました。

式典後には、奈良大学体育館で祝賀会が催されました。会場では、奈良大学ウインドオーケストラクラブによる奈良大学学歌の演奏で出席者をお迎えしました。その後、今津節生学長による挨拶の後、小出秀文日本私立大学協会事務局長から祝辞をいただき、小林哲也理事の発声で乾杯、祝宴と移りました。

祝賀会においては、出席者の皆様で懇親を深めていただくとともに、奈良大学ウインドオーケストラクラブによる演奏と、奈良大学附属幼稚園ママさんコーラス部の合唱をお楽しみいただいた後、堀川忠道校長による中締めで閉会となりました。

本年、本法人は創立100周年を迎えました。創設者の藪内敬治郎先生をはじめ、これまで法人の運営に携わっていただいた方々や現職教職員の皆様のご努力に深く感謝申し上げます。また4月28日の法人創立記念日に開催いたしました100周年の記念式典には、多くの方々にご出席をいただき厚く御礼を申し上げます。本法人は、戦後の団塊世代の進学者増加、社会・経済の進展による高等教育機関への進学者増加等により規模を拡大すると共に健全経営に努めて参りました。さて、次なる100年を展望すると、我が国は、人口減少に伴い教育機関は苦難の時代を迎えることが予想されます。今こそ、独自の強みを生かした教育、次代を担う若者の教育の在り方を見極め、少子化時代に立ち向かっていくことが大切であります。私たちは創立100周年を機に、強い決意を持って次の100年への一歩を踏み出したいと思いを。

学校法人奈良大学理事長 浅川正美



山下真
奈良県知事



仲川げん
奈良市長



小原芳明
日本私立大学協会会長



奈良大学ウインドオーケストラクラブ 演奏



奈良大学附属高等学校三味線部 演奏、なぎなた部 演舞



小林哲也
学校法人奈良大学理事
近鉄グループHD株式会社
取締役相談役



小出秀文
日本私立大学協会事務局長



今津節生
奈良大学学長



奈良大学附属幼稚園ママさんコーラス部 合唱

文学部 国文学科



新入生研修で薬師寺を見学

4月15日(火)に、新入生研修で薬師寺を見学しました。薬師寺は、学校法人奈良大学の前身「南都正強中学」が生まれた場所で、今年でちょうど法人創立100周年を迎えます。

研修では、金堂や講堂はもちろん「南都正強中学」の校舎も今回特別に見せていただくとともに、薬師寺の僧侶の河野さんによる講話を面白く拝聴しました。また、各施設においては国文学科教員が、古典から近代まで各時代のエピソードを交えた解説を行い、新入生は熱心に耳を傾けていました。道中のバスのなかでも、史跡や故地の解説を教員が行いました。

善男善女の日ごろの行いでしょうか、朝は雨だったのですが薬師寺散策中は晴れてくれました。そのおかげで、1300年以上の歴史とその雄大さを実感でき、「奈良」の大学、「奈良大学」だからこそこの学びとなり、実りのある散策の時間となりました。

文学部 地理学科



ミニ巡検

地理学科の新入生は「新入生研修」として大学周辺でのミニ巡検に参加しました。

巡検では複数のグループに分かれ、担当教員ごとに解説内容やルートが異なり、交通・歴史・水文・農業・都市計画など色々な視点から解説が行われました。

人文系のあるグループは、小雨と風に見舞われつつも大学南側エリアを見学。小学校や郵便局などが集まる地区の中心に役場が所在していたこと、S字型のあぜ道が昔の競馬場の名残であることを解説されると、驚いた表情をしていました。自然系のあるグループでは学内各所を見学。大学の南側に断層があり、地形が盛り上がっていること等について説明を受けました。

学生たちは特に疲れた様子もなく、会話をしみつつ現在地を確認したり、小まめにメモを取ったりと熱心に巡検に取り組んでいました。

文学部 史学科



史学研究法

「史学研究法」は史学科1年生の必修講義で、複数の教員のもとで異なる時代・地域について学びます。4月21日と5月5日には、日本古代史、日本中世史、西洋古代史、中央アジア史についてクラス別講義が行われました。

講義では、“明智光秀の最期について”等のよく聞く話から、遊牧民族の突厥の文字資料や歴代の足利将軍の花押の違いなど、深く掘り下げた内容まで語られ、新入生は奈良大学史学科の充実ぶりを改めて実感できたと思います。

また、外国語を本格的に勉強する際に気をつけることや、発表において参考資料の提示も重要であることなど、教育・研究の基礎についても学ぶとともに、教員と学生が積極的にコミュニケーションを取ったり、学外調査時のエピソードを教員がユーモア交じりで語ったりするなど、教員と学生の距離がより縮まる機会にもなりました。

文学部 文化財学科



新入生研修で「現地現物主義」を体験

文化財学科に入ったばかりの新入生は、4月7日(月)に研修として薬師寺(やくしじ)、唐招提寺(とうしょうだいじ)、垂仁天皇陵(すいにんてんのうりょう)などを、教員や留学生と一緒に見学しました。

この日は桜が満開の良い天気、西ノ京駅に集まったあと、まず薬師寺を訪ね、大河内智之教授から説明を聞きました。薬師寺は、学校法人奈良大学がちょうど100年前に生まれた場所でもあり、当時境内で使われていた「南都正強中学」の校舎も特別に見せてもらいました。

そのあと唐招提寺でも大河内教授の説明を聞き、宝来山古墳(垂仁天皇陵)では豊島直博教授から説明を受けました。新入生たちは、見学しながら仲よくなった友達と一緒に楽しく話しながら奈良の歴史ある場所をめぐりました。こうして、新入生たちは文化財学科の大切な考え方である「現地現物主義」を実際に体験しました。



アートセラピーを体験

心理学科の新入生は、5月7日・14日の2週に渡って、アートセラピーに挑戦しました。アートセラピーとは絵や粘土、音楽などの芸術を活用した心理療法で、主に欧米で研究されてきました。今回の講義では前年に引き続き、現代美術家の院南先生を講師にお迎えして、粘土で人形を制作する実習が行われました。学生たちは久しぶりの“粘土遊び”に、笑顔で周囲の友人たちと相談しながら、思い思いの人形を形作っていました。アートセラピーでは自分を表現して他人と分かち合うことが重要といわれていますが、新入生たちは、粘土で自分のアイデアを表現して友人たちと笑いあうことでアートセラピーを実践できたと思います。また、作品の完成後も、互いの作品を見せ合ったり一緒に写真を撮ったりするなど、より交流が深まったようです。このように心理学科では、座学だけでなく学内外での実習・実体験も重視したカリキュラムで学生育成に取り組んでいます。



現場の警察官とともに 闇バイト防止対策を考える

総合社会学科の新入生を対象とした「基礎演習」では、大きな社会問題となっている「闇バイト」の防止を目的に、現場の警察官とともに「危険性やリスクを若い世代に認識してもらうために、自分たちが出来ること」を考えています。グループで話し合った「自分たちが知っている危険性や社会での問題点」を発表し、本学を管轄する奈良警察署の生活安全課の方々から、闇バイトに関わってしまった際の相談窓口や犯罪の実情をうかがいました。学生からは「知っているつもりだったが、新たに知ることが多かった」「おそろしさを実感した」「周りの人に伝えたい」との感想が聞かれました。今後、奈良署生活安全課の方々のご指導をいただきながら、ポスターや動画など、地域の方々にも発信する啓発物を作成していく予定です。



コロナ禍により中断していた文化財学科海外研修を再開しました。再開後第1回の訪問先はインドネシア共和国で、2025年2月28日～3月5日の6日間、バリ島とジャワ島を訪ねました。

旅の前半は、バリ島へ。リゾート地として名高いバリ島ですが、今回はインドネシアの文化を体感するために訪れました。関西国際空港に集合したのは、教員・学生の総勢15名です。

まずは、ジャガナタ寺院やバリ博物館を見学。ウルワツ寺院ではインド洋に沈む夕日を背景に、伝統舞踊のケチャックダンスを観覧しました。楽器を使わずに口と体でリズムを奏でる無言劇。迫力あり、笑いあり、感動ありの物語です。

旅の後半はジャワ島へ移動して、プランバナン寺院群の中心にあるロロ・ジョングラン寺院やバクアラマン宮殿を見学します。さらにユネスコ無形文化遺産にもなっているバティック工房や銀細工房で、製作工程についても学ぶことができました。

ロロ・ジョングラン寺院を見学に行く途中は大雨でしたが、寺院に着く頃には奇跡的に雨は上がっていました。自由行動の時間には、友達とマリオポロ通りを散策し、町並みや市場、買い物を楽しみました。

そして、今回のメインであるボルブドゥール遺跡へ。壮大な仏教寺院で、細かなレリーフ。頂部には多くのストウパがまるでハンドベルのように並んでいます。同時代の日本の寺院とは建築思想は異なっていますが、石造寺院の迫力もスゴイ！

この後、飛行機を乗り継いで、関西国際空港へ全員無事に帰国しました。今回の研修では、海外の文化・宗教や文化財などを感じる旅でした。さて、次はどこに行こうか！

海外研修で
インドネシアを
訪問しました

参加学生コメント

文化財学科 井口 真念さん
(出身校:愛知県 豊川高等学校)

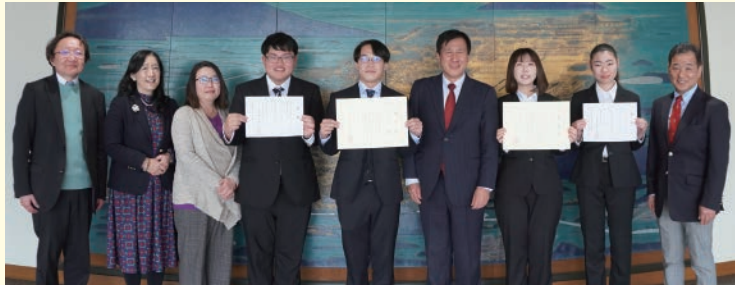


ずっと海外には興味があり、文化財学科海外研修が復活したと知った時は、「これは行くしかない！」と思いました。ケチャックダンスやプランバナン寺院群・ボルブドゥール遺跡はもちろんのこと、今回の巡見は一生忘れることのない思い出になりました。また、現地の人と仲良くなってみたいと思っていたので、英語はしゃべれないけど、積極的にコミュニケーションをとるようにしました。すると、インドネシアはおおらかな人が多く、漁船に乘せてもらったり、いろんな果物を食べさせてもらったり、観光客のほとんどいない住宅地や商店街を巡ったり、これもまた、忘れることのない思い出です。現地で実際に現物に触れることでしか得られないことがあることを、深く実感する6日間でした。

■ 令和6年度 表彰式

奈良大学表彰式が執り行われました

奈良大学では、学業・社会貢献・課外活動において顕著な活躍を認められた学生個人または団体を対象に表彰しています。



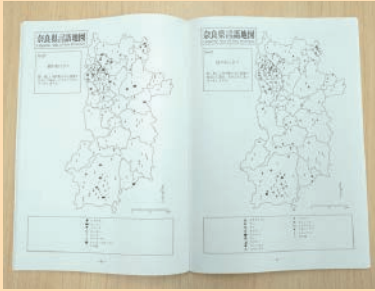
3月25日(火)に学業表彰式が行われました。「学業表彰」は学業等において優秀な成績を修めた学生を各学科から推薦する表彰制度で、令和6年度は第1～3学年までの各学年から5名ずつ合計90名が選ばれました。令和館に対象者全員が集合して今津節生学長から表彰を受けました。表彰式では、賞状と副賞の授与後に今津節生学長からお祝いの言葉が贈られました。

1月20日(月)に、課外活動において優秀な成績を挙げ、本学の名誉を高めたと認められる学生団体と、学内外において他の模範とするに足る社会貢献・奉仕を行い、社会的評価を得たと認められる学生団体に対して表彰式が執り行われました。今回は次の2団体が選ばれました。

課外活動表彰

方言サークル

奈良県内の180地点における方言調査をもとに作成した「奈良県言語地図」は奈良県内に特化する形で作成された言語地図としては類を見ないもので学術的に有意義なものであり、また、新聞等でも紹介されるなど本学広報にも貢献しており、これらの功績は課外活動表彰に値すると認められた。



社会貢献表彰

社会学部心理学科 ゲートキーパー活動チームAgain

大学生の自殺問題に取り組むため、エビデンスに基づいた実践的な活動を展開しているが、単なる啓発や訴えではなく、心理学科の学問的知見を活かした科学的アプローチを取り入れている。また、活動の幅を広げメディアで取り上げられるなど、地域社会に貢献しており、これらの活動は社会貢献表彰に値すると認められた。



1年次学業表彰			2年次学業表彰			3年次学業表彰		
文学部	国文学科	泉 愛海	国文学科	木林 愛実	文学部	国文学科	池西 琴美	社会学部
		永本 のどか		西 真利奈			蘭 正輝	
		根本 和虎		西元 奈緒			中須 健人	
		福岡 胡萌		深町 開			前田 美空	
		福西 珠穂希		眞加井 瞳			山田 絢音	
	史学科	近藤 伽菜	史学科	青木 健将		史学科	荒木 かなう	
		清水 悠蘭		生田 悠剛			高田 祥真	
		下濱 穂乃華		高橋 茜			竹内 翼	
		戸谷 穂高		本元 凜太郎		地理学科	笠松 直斗	
		原科 匠		宮脇 かな			小峠 輪空	
社会学部	地理学科	有馬 優貴	地理学科	小野 祥太郎			中野 克信	文化財学科
		石川 柊也		高橋 宏平			西谷 孔明	
		國本 淳志		寺尾 康佑			前田 泰平	
		佐藤 結楽		平松 大輝		文化財学科	青木 ふみ	
		寺西 善友		大山 紗輝			進藤 久慈	
	文化財学科	磯邊 倫太郎	文化財学科	岡本 将佳			西谷 漸	心理学科
		碓井 颯季		小川 拓朗			榎谷 咲希花	
		南部 真佑		村松 明日翔			村田 陽	
		細川 季詩		安野 彰真		心理学科	嶋田 銀一朗	
		小埜 優一	心理学科	岩藤 妃名			田上 真衣	
社会学部	心理学科	櫻井 亜莉紗		植谷 はるの	社会学部	心理学科	竹中 大悟	総合社会学科
		西浦 美空		老松 昌洋			西本 穂奈	
		西島 健人		小林 拓登			山村 陽平	
		森田 藍稟		松田 桂凪人		総合社会学科	葛 予杰	
		石橋 侑大		恵比須 怜緒			古南 侑輝	
	総合社会学科	塩谷 淳	総合社会学科	大上 加恋			夢田 喜一	
		中筋 光翔		曹 芸凡			谷川 颯太	
		中原 陸人		堀 真也			藤下 幸	
		那波 春哉		矢部 ほのか				

※学生本人の希望により、氏名を掲載していない場合もあります。

65歳で息子の後輩に！ そして幸せな奈良大ライフ！

在学生 中村 文則 さん

鎌倉で生まれ育った息子は“中世の都”鎌倉が大好き。しかし“古の都”奈良・京都へは一度も訪れたことがありませんでした。「このまま大人になるのはまずい」と高校3年の夏休みに初めて奈良・京都を訪れ、その時に奈良大学オープンキャンパスにも参加しました。中世の考古学に興味を持ち、それを契機に文化財学科及び大学院で6年間学び、考古学芸員として昨年就職しました。息子は「鎌倉のやぐら(中世石窟墓)」に取り組んでおり、現地踏査に付き合った私は我が息子ながら「格好いいな！」と憧れました。また、息子の住まいを拠点に度々奈良を訪れた私は奈良にも憧れました。そして、65歳年金満額受給と息子の就職が重なったのを好機と、昨年3月に退職し4月に奈良大学通信教育部に入学しました。

在宅勤務のようにテキスト科目に取り組んでいます。専門書を熟読し、設題の意図を解釈しながらレポートにまとめるのは難儀ですが、考古学特殊講義で相原先生がおっしゃっていた「わからないことが、わかってくる」喜びを感じています。また、先生方の講評が丁寧かつ的確であり「生半可な取組ではいけない」という思いも喜びです。

スクーリング科目は、先生方が高い専門的知見を真摯に講義してください、しかも専門性が深まるにつれて幸せそうに語られます。受講する私までも幸せな充実感に包まれてしまいます。最終日には学友さんと居酒屋で打ち上げ、様々な立場や年齢であっても目的が共通なため意気投合します。地元に戻っても、学友さんとの博物館見学&トークは新たな喜びです。

奈良大学ライフ2年目。美術史特殊講義で原口先生が「楽しむために学ぶ。こんなに幸せなことはないですよ。」と、おっしゃっていたように大いに楽しめます！



通信教育部生
便り

素晴らしい仲間たちとの出会いが かけがえのない宝物です

卒業生 林田 正美 さん

私は休日や時間ができた時などには、よく博物館や美術館、お寺巡りなどで歴史や文化を楽しんでいました。そんなある日、新聞で奈良大学の通信教育の広告を見つけました。大学には通信教育があることは知っていましたが、それは若い人達だけが対象であるものだと思い込んでいた私は衝撃を受けました！在校生の平均年齢が、その時の自分自身の年齢(55歳)と同じだったのです。「えっ！」っていう感じで、なんだかその日からワクワクした気分が毎日を過ごしていたことを思い出します。

入学式ではさまざまな年齢層の方々がおられ、入学式会場では緊張した若い学生さん達とは対照的に、楽しげにウキウキ感満載の笑顔での式だったのを覚えています。いくつになっても勉強し、知らなかったことを知ること、わからなかったことが解決した時の爽快感は格別です。奈良大学の先生方はとても熱心にご指導くださいました。拙いレポートにも細かい解説をくださり、スクーリングでは時間を忘れるほど興味深い授業を受けさせていただきました。レポート作成や卒業論文作成などでは、奈良大学の図書館がやはりどこの図書館よりも頼りになりました。他の図書館では無い専門書、他では触らせても貰えない貴重な資料などが揃う素晴らしい図書館を利用できたことが有り難かったです。

また、奈良大学に入学してからこそその宝物があります。それは素晴らしい仲間たちとの出会いです。思いもかけず沢山の方々と知り合い、励まし合い助けられました。有難い事に卒業後も仲良くさせて頂いております。同じ興味、視点、価値観で何時間でも楽しく話が出来る仲間との出会いは、かけがえのない宝物です。ありがとうございました。



トピックス

1月 January

27日 博物館展示企画
「朝来経塚群―祈りの考古学―」

2025年1月27日(月)～4月12日(土)に博物館展示企画「朝来経塚群―祈りの考古学―」を開催しました。1985年、水野正好名誉教授(当時は教授)が学生とともに和歌山県上富田町の「朝来経塚」の発掘調査を行いました。その約40年後、2023年頃から奈良大学大学院生と、本学卒業生で水野名誉教授の教え子でもある文化財学科の相原嘉之教授らが、出土品を再整理して報告書として纏めていく過程で、1985年当時とは異なる新たな見解を示すことができました。展示会場では、1つの川原石に経典の1文字が書写された「一字一石経」、経塚の外容器とされる「東播系須恵器甕」及び「常滑焼大甕」の土器片と関連資料などが展示されました。



3月 March

3日 就活メイク講習会を開催



3月3日(月)、令和館にて「初めてでもだいじょうぶ！印象アップして就活に臨もう！就活メイク講習会」を開催しました。男子学生3名を含む18名の学生が参加し、就職活動に向けて印象アップのためのメイクスキルを学びました。

資生堂ジャパン様のご協力のもと、スキンケアの基本からメイクアップの実践まで、プロのスタッフによるレクチャーが行われ、学生たちは熱心に耳を傾けながら鏡に映る自分と向き合い、楽しみながらも奮闘していました。初めてメイクに挑戦した学生も、日頃からメイクをしている学生も、それぞれ自分に合ったメイク方法を学び、自信を持って仕上げることができました。

参加学生からは、「就活に向けてのメイクやケアについて学ぶことができてよかったです」「基本のメイクについてとても学びになりました。顔

が明るくなりました」といった声が寄せられ、大変好評でした。男子学生もスキンケア、髪型など身だしなみを中心に講習を受け、就活準備への意識が高まった様子でした。今後も学生が就職活動に向けて自信を持てるようなサポートイベントを企画してまいります。

18日 奈良市学生支援事業の
成果報告会に参加！



3月18日(火)、奈良市が実施している「令和6年度地域に飛び出す学生支援事業補助金」に採択された学生団体の活動の成果報告会が行われ、奈良大生が主導する4団体も参加しました。報告会は「奈良の学生MeetUp!!～ならキャンDAY!～『地域をフィールドにしたZ世代の学生生活動』」をテーマに開催されました。

報告後、講評者からコメントが述べられ、他大学も巻き込むという発想、他世代との交流も重視したこと、男性と女性で啓発題材を変えたことなど、各団体の様々な工夫に対して評価をいただきました。

19日 令和6年度奈良大学卒業証書・学位記授与式及び大学院学位記授与式



3月19日(水)に、本学講堂において令和6年度の奈良大学卒業証書・学位記授与式および大学院学位記授与式を行いました。今回の卒業生の大半がコロナ禍2年目の入学者で、講堂ではなく各教室での映像配信による入学式など、制限が多い中での学生生活スタートとなりましたが、卒業式は講堂で行うことができました。

式では今津学長や浅川理事長からお祝いと激励のお言葉をいただき、また在学生から送辞が述べられました。

式が無事終了した後も、学内各所で卒業生が友人たちと思い出話に花を咲かせていました。

20日 平城宮の女官、春のオープンキャンパスに登場！



3月20日(木・祝)のオープンキャンパス当日に「歴史と未来を紡ぐ対話－奈良時代の女性×現代の私たち－」を開催しました。2025年(令和7年)10月に、奈良県では初となる男女共同参画社会の実現をテーマとした国内最大級の会議「日本女性会議」が橿原市で予定されており、そのイベントとしての開催です。

当日は、奈良時代の平城宮で働いていた女官「佐紀郎女」(さきのいらつめ)をゲストにむかえて、島本副学長(公衆衛生学、産婦人科学、女性医学、男女共同参画)とのトークライブを実施。さらに、奈良時代に流行したゲーム「かりうち」を体験するコーナーも設けました。

トークライブでは、奈良時代の暮らしと現代との違いに佐紀郎女さんも驚きを隠せない様子でした。また、「かりうち」は一見シンプルなゲームですが、実際に進めていくと

非常に奥が深く、サイコロを振ってから考え込む参加者の姿も見られました。

4月 April

2日 令和7年度入学式

4月2日(水)、令和7年度の奈良大学・奈良大学大学院入学式が奈良大学講堂にて行われました。当日は、多くのご家族・ご同伴者の方にもご出席いただき、講堂は満席となりました。

式では、今津節生学長による入学許可宣言と祝辞、在学生代表による歓迎の辞、雅楽研究会による演舞などが披露されました。その後、学科ごとに教室に分かれて学生証を受け取り、希望に満ち溢れた大学生活の第一歩を踏み出しました。また、午後には在学生によるクラブ・サークル勧誘が早速始まり、賑やかな1日となりました。



■ オープンキャンパス・入試日程

高校生＆受験予定者対象 オープンキャンパス 日程一覧

開催日	時間	内容
4/26(土)、5/24(土)、6/14(土)	13:00～15:30	体験講義、学科相談、クラブ活動見学、入試相談などを予定しています。
7/13(日)、7/27(日)、8/24(日) 2026/3/20(金・祝)	10:00～15:30	

2026年度入試 日程等

試験制度	出願期間	試験日	合格発表日	概要
AO入試(第1回)	エントリー締切: 9/1(月)	10/4(土) ※適性確認は 9/13(土)に実施	11/1(土)	学科により、出願資格や 試験内容が異なります。
AO入試(第2回)	出願締切:11/30(日)	12/13(土)	12/23(火)	
AO入試(第3回)	出願締切:3/8(日)	3/20(金・祝)	3/22(日)	
総合型選抜 【校友特別推薦】	10/3(金)～10/26(日)	11/8(土)	11/26(水)	書類審査と口頭試問で 評価します。
指定校制推薦	10/3(金)～11/3(月・祝)		12/1(月)	
専門高校・専門学科・ 総合学科対象入試				
学校推薦型選抜 【課題提示型小論文】				11/12(水)午前
学校推薦型選抜 【基礎学力型A】		11/12(水)午後		2科目で受験(基礎Bと 受験科目は異なります)
学校推薦型選抜 【基礎学力型B】		11/13(木)午前		1科目で受験(基礎Aと 受験科目は異なります)
一般選抜【前期A日程】	12/19(金)～1/18(日)	1/28(水)	2/11(水・祝)	3科目で受験、判定は高得点 2科目(前期A日程と前期B日 程で受験科目は異なります)
一般選抜【前期B日程】		1/29(木)		
一般選抜【中期日程】	12/19(金)～2/2(月)	2/18(水)	2/28(土)	2科目で受験 (中期日程と後期日程で 受験科目は異なります)
一般選抜【後期日程】	2/14(土)～3/5(木)	3/16(月)	3/20(金・祝)	
共通テスト利用A日程	12/19(金)～1/28(水)	個別試験なし	2/20(金)	入試ガイド2026で 各学科の指定科目、配点を ご確認ください。
共通テスト利用B日程	1/26(月)～2/8(日)		2/28(土)	
共通テスト利用C日程	2/14(土)～3/8(日)		3/20(金・祝)	

■ インフォメーション

■ 第19回「地歴甲子園-歴史フォーラム-」告知

第19回「地歴甲子園-歴史フォーラム-」の開催が決定しました。高校生の皆さんからの研究レポートを募集します。地域の歴史や地理、歴史や文化、地理、文化財、文学、人物、社会のいずれかに関する研究をレポートとしてまとめてください。優秀賞受賞者は、奈良大学で発表していただくとともに、本学教員が解説する世界遺産見学も楽しんでいただけます。応募締切は9月3日(水)です。審査結果は10月11日(土)に奈良大学ホームページの「地歴甲子園サイト」にてお知らせします。また、発表の様子はYouTubeでライブ配信し、終了後も動画として公開いたします。お問い合わせは、「地歴甲子園-歴史フォーラム-」実行委員会まで。



「地歴甲子園-歴史フォーラム-」ホームページ
<https://www.nara-u.ac.jp/forum/>



■ 近刊紹介 ～本学教員の著書～

- ◆ **コレクション・近代日本の中国都市体験 第4巻 旅順**
国文学科教授 木田隆文 編著、ゆまに書房 2025年3月刊行
- ◆ **幕末女性の生活 日記に見るリアルな日常**
史学科教授 村上紀夫 著、創元社 2025年3月刊行
- ◆ **描かれた法華經**
文化財学科教授 原口志津子 編、勉誠社 2025年3月刊行
- ◆ **大学生のためのウェブ調査入門 社会科学からみた設計と実装**
総合社会学科教授 吉村治正、正司哲朗 分担執筆、慶應義塾大学出版会 2025年3月刊行
- ◆ **図説 豊臣秀長－秀吉政権を支えた天下の柱石**
史学科教授 河内将芳 著、戎光祥出版 2025年5月刊行
- ◆ **<産みの親>と<育ての親>**
元奈良大学教授・奈良大学特別研究員 床谷文雄 共編著、法律文化社 2025年5月刊行
- ◆ **(増補)阿修羅像のひみつ【朝日選書1050】**
奈良大学学長 今津節生 共著、朝日新聞出版 2025年6月刊行

■ 学園100周年企画展「ホウライ写真館-奈良大学のさいしょの最初-」

奈良大学博物館では、「ホウライ写真館-奈良大学のさいしょの最初-」と題して、学園創立100周年記念企画展を開催しています。学校法人奈良大学のはじまりは、1925年、薬師寺境内に設立された「南都正強中学」です。創設者の藪内敬治郎先生が私財を投じて始められた、勤労学生のための無月謝の学校でした。

それから44年後の1969年、奈良市宝来町に奈良大学が開学しました。当時の奈良大学を写した写真は多数残されていますが、今回は、奈良大学の宝来キャンパス時代の写真を展示します。学舎建築前の地鎮祭、大学祭、講義など、宝来キャンパスをご存じの方はもちろん、そうでない方にも50年以上前の奈良の様子をご覧いただける内容です。皆さんのご来館をお待ちしております。

【会期など】令和7年4月21日(月)～7月27日(日) 入館無料
【開館時間】9時～16時30分(土曜日のみ9時～12時)
【休 館 日】日曜日、祝日 ※最終日はオープンキャンパス参加者のみ入館可

■ 学園100周年記念 通信教育部創立20周年記念 公開講演会「阿修羅のひみつ-天平の至宝を未来につなぐ-」

奈良大学では興福寺と協力して、阿修羅像などの興福寺乾漆像を調査してきました。この調査結果をお伝えする講演会を開催します。

【日 時】7月13日(日)13時～15時30分(開場:12時30分～)
【会場等】奈良大学講堂 / 先着800名 / 事前申込制 / 参加無料
【講演テーマ】
「阿修羅の来歴」 興福寺貫首 森谷英俊 氏
「興福寺と光明皇后」 通信教育部長 史学科教授 渡辺晃宏 氏
「X線CTが捉えた1300年の新事実」 奈良大学学長 今津節生 氏
奈良国立博物館学芸部研究員 加藤沙弥 氏
「乾漆像の内面に隠れた顔から推理する制作者の意図」 愛知県立芸術大学名誉教授・元本学講師 山崎隆之 氏

参加ご希望の方は下記のGoogleフォームまたはQRコードからお申込みください。定員に達しご参加いただけない場合のみ連絡します。
<https://forms.gle/qANCmjEY7Kh97Rgq8>



※オープンキャンパス参加の高校生は事前申込は不要です。
本誌発行時点で受付を終了している場合もございますが、ご了承ください。

■ 創設者・藪内敬治郎先生の命日墓参

学校法人奈良大学創設者・藪内敬治郎先生の命日である4月21日に、浅川正美理事長、今津節生学長、堀川忠道校長、法人役員が藪内先生のお墓参りをしました。浅川理事長より学校法人奈良大学が100周年を迎えたことを墓前に報告されました。



■ 附属高等学校

奈良大生との意見交換会

3月10日(月)、「リプロダクティブヘルスアンドライツを知らうプロジェクト」に取り組む奈良大生が来校し、附属高校生と意見交換を行いました。このプロジェクトは、HIV・性感染症やDVなどの予防について、リプロダクティブヘルス(性と生殖に関する健康)の視点から、正しい知識と対応方法を共有することが目的で、島本太香子教授の講義等を受講する奈良大学生が、奈良市保健所と連携して実施しています。

性感染症に関するクイズ形式の説明の後に意見交換を行い、附属高校生から「何度も繰り返し学ぶことで、知識は身につくのではないか。」など、自らの経験を基にした発言がありました。奈良大生は「これからも是非一緒に考えていきましょう」と附属高校生に呼びかけました。



■ 附属幼稚園

令和7年度入園式

4月11日(金)、令和7年度入園式を行いました。今年度は、3年保育34名、1年保育2名の新しいお友だちを迎えています。つくし・ひよこクラスに通っていた子も多く、なじみの先生に安心した様子や、少し緊張した表情も見られました。ピカピカの制服に身を包み、おうちの方と一緒に式に臨んだ子どもたち。最後までしっかりと座る姿がとても立派でした。年長兄のお兄さん・お姉さんからは、元気いっぱいのお祝いの言葉も届けられました。式の最後には、「ちゅうりっぷ」の歌をみんなで歌い、先生たちの振り付けを見ながら楽しむ姿もあり、温かな時間が流れました。これから始まる幼稚園生活。子どもたちの笑顔があふれる1年にしていきたいと思います。

